

日本エンタープライズ株式会社

第26期 2014年5月期

第2四半期 決算説明資料

2014年1月





2014年5月期 決算概況【第2四半期】



2014年5月期 事業展開【国内】



2014年5月期 事業展開【海外】



2014年5月期 見通し【業績予想】

コンテンツ サービス事業

- **キャリアの定額制サービス向けのコンテンツの拡大**
(auスマートパス向け(2本)、スゴ得コンテンツ向け(1本)を追加投入)
- **dメニュー向けコンテンツのiPhone対応**
- **新アプリのサービス提供** (Fivetalk、コミュカラ)

ソリューション 事業

- **iPhone5s/cの販売開始の影響による店頭アフィリエイト※の減収**
- **店頭アフィリエイトの拡販** (東京都書店商業組合とのテストマーケティング)
- **企業向け(スマートフォン開発等)案件の引き合い拡大**

海外(中国)

- **電子コミック「九鼎記」の配信先拡大**
(中国移動『手機動漫』、中国電信『愛動漫』、中国聯通『沃動漫』)
- **中国電信の携帯電話販売の減少**
(販売奨励金が、販売攻勢による予算オーバーで、一時休止へ)

※携帯電話販売会社との協業による成功報酬型コンテンツ販売(リアルアフィリエイト)

連結損益計算書の概況

(単位:百万円)

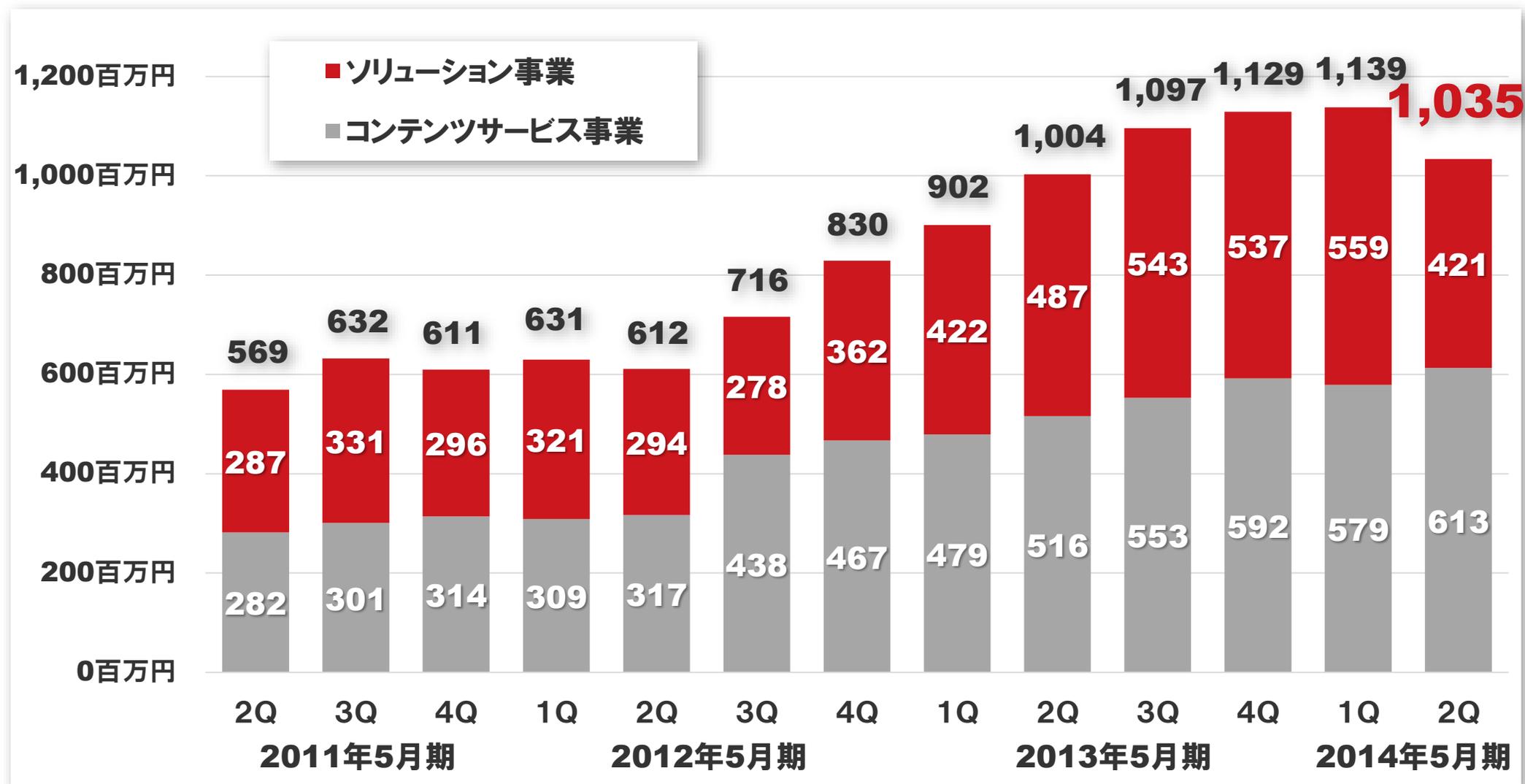
	2013年5月期 第2四半期累計	2014年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
売上高	1,907	2,174	267	14.0%
売上原価	1,000	1,135	134	13.5%
売上総利益	906	1,039	132	14.6%
販管費	716	878	162	22.6%
営業利益	189	160	▲29	▲15.6%
経常利益	197	168	▲28	▲14.4%
四半期純利益	121	132	10	9.0%

■ コンテンツサービス事業、ソリューション事業ともに増収

(単位:百万円)

	2013年5月期 第2四半期累計	2014年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
コンテンツサービス事業	996	1,193	196	19.7%
ソリューション事業	910	981	71	7.8%
合計	1,907	2,174	267	14.0%

■ コンテンツサービス事業は6億円規模へ



売上高(コンテンツサービス事業)の前年同四半期比較

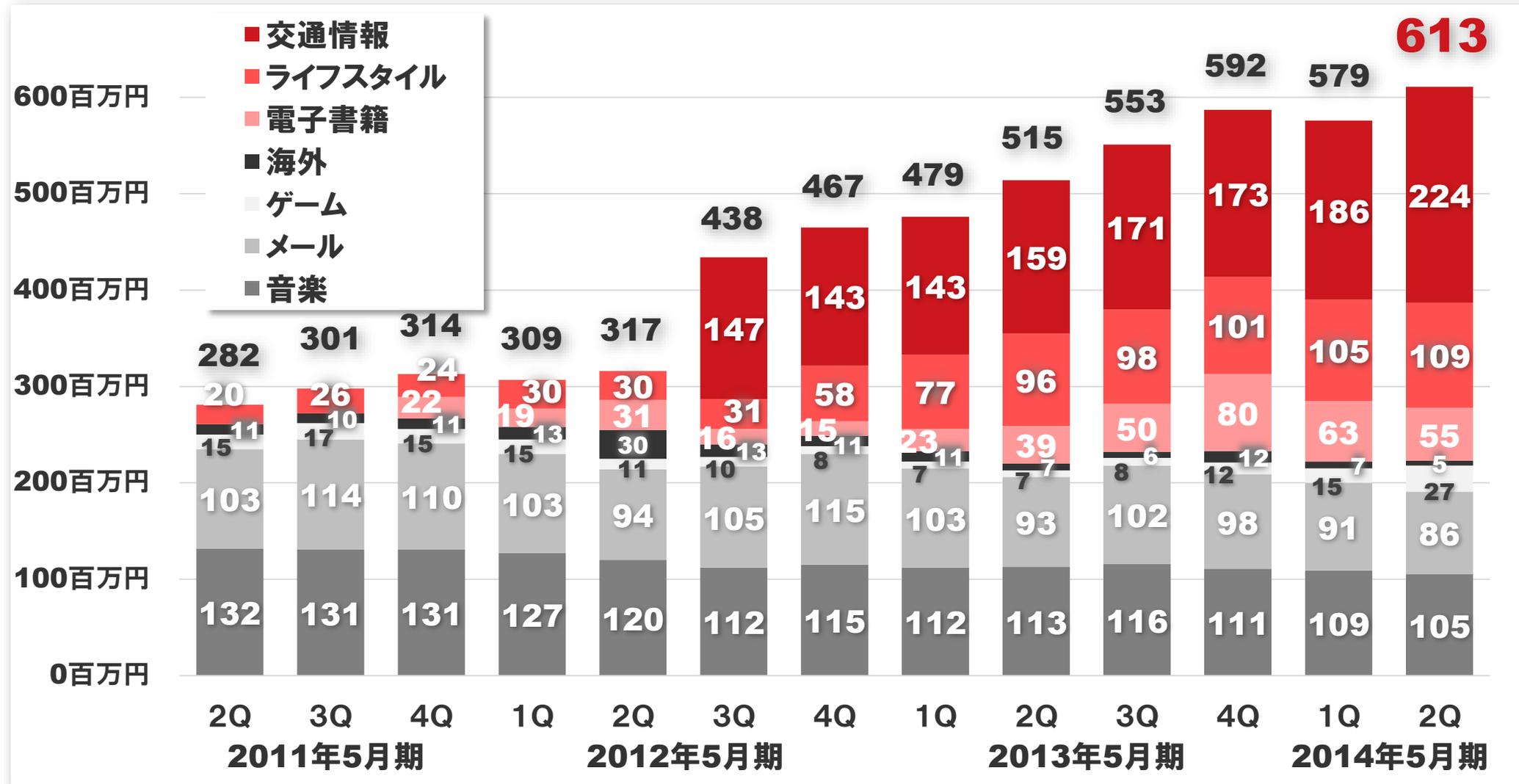
■ 交通情報、ライフスタイル、電子書籍、ゲームが増収

(単位:百万円)

	2013年5月期 第2四半期累計	2014年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
交通情報	303	410	107	35.4%
ライフスタイル	174	214	39	23.0%
電子書籍	62	118	55	89.2%
海外	19	12	▲6	▲34.0%
ゲーム	14	43	28	192.1%
メール	196	177	▲18	▲9.5%
音楽	225	215	▲10	▲4.6%
合計	996	1,193	196	19.7%

売上高(コンテンツサービス事業)の四半期推移

交通情報、ライフスタイルが、継続的に牽引



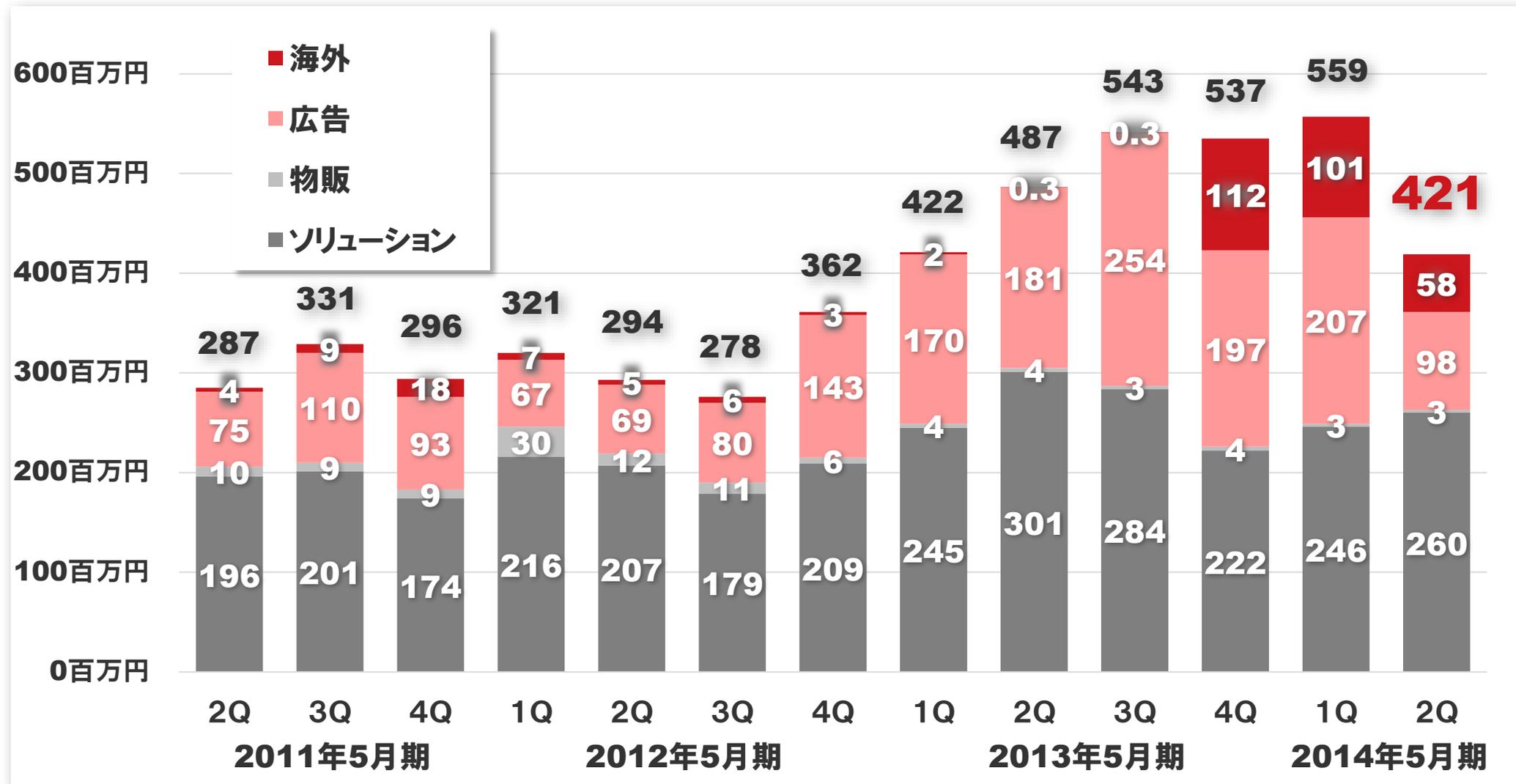
■ 海外(中国)が増収

(単位:百万円)

	2013年5月期 第2四半期累計	2014年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
海外	2	160	157	6,371.6%
広告	352	306	▲45	▲13.0%
物販	9	7	▲1	▲20.1%
ソリューション	546	507	▲39	▲7.2%
合計	910	981	71	7.8%

売上高(ソリューション事業)の四半期推移

■ソリューション堅調ながらも、広告と海外が減収



売上原価・販管費の前年同四半期比較

■ 販管費: 広告宣伝費(コンテンツサービス事業)等への積極投資、 人件費(中国の携帯販売員等)の増加

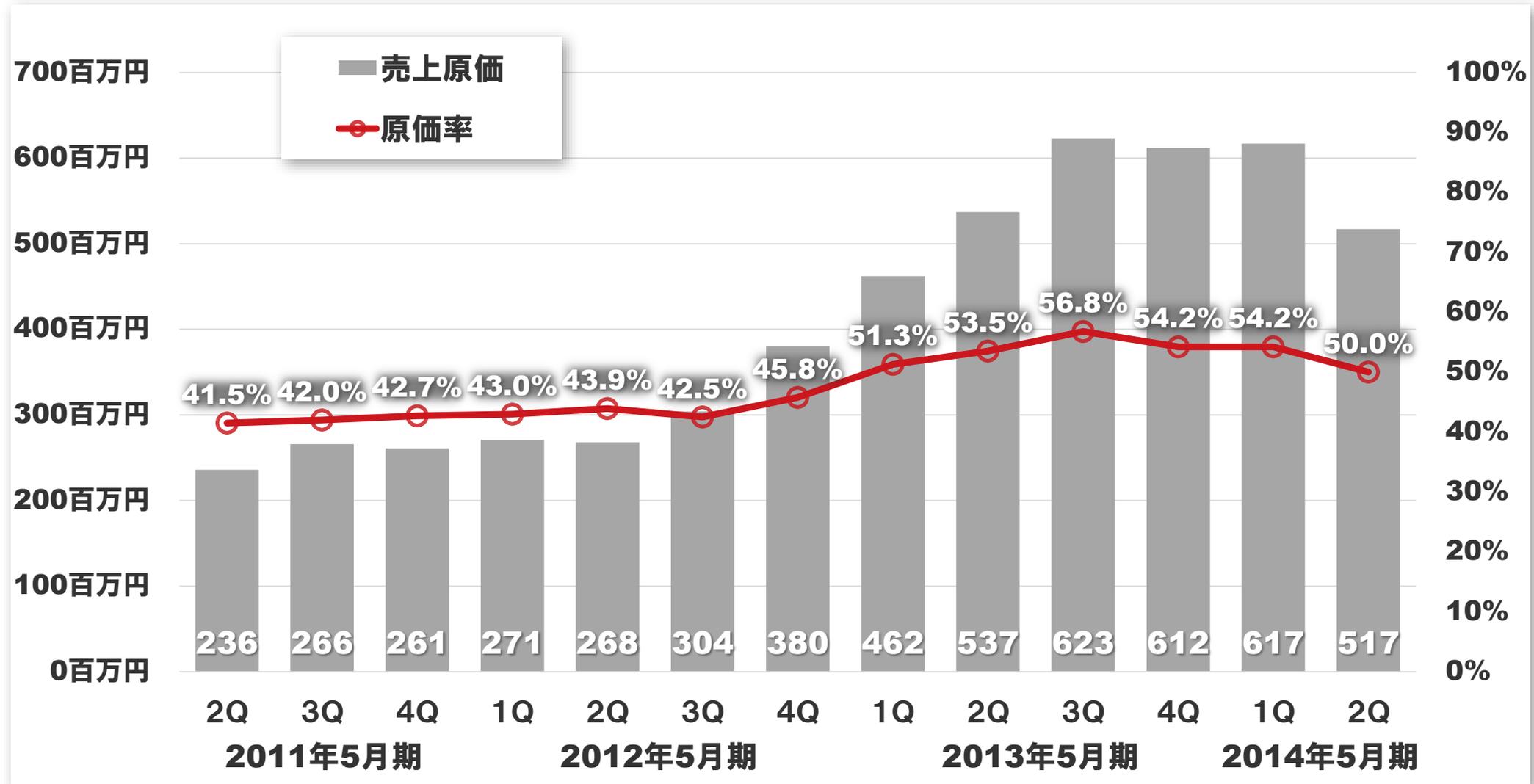
(単位: 百万円)

	2013年5月期 第2四半期累計	2014年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
売上原価	1,000	1,135	134	13.5%
原価率	52.5%	52.2%	—	—

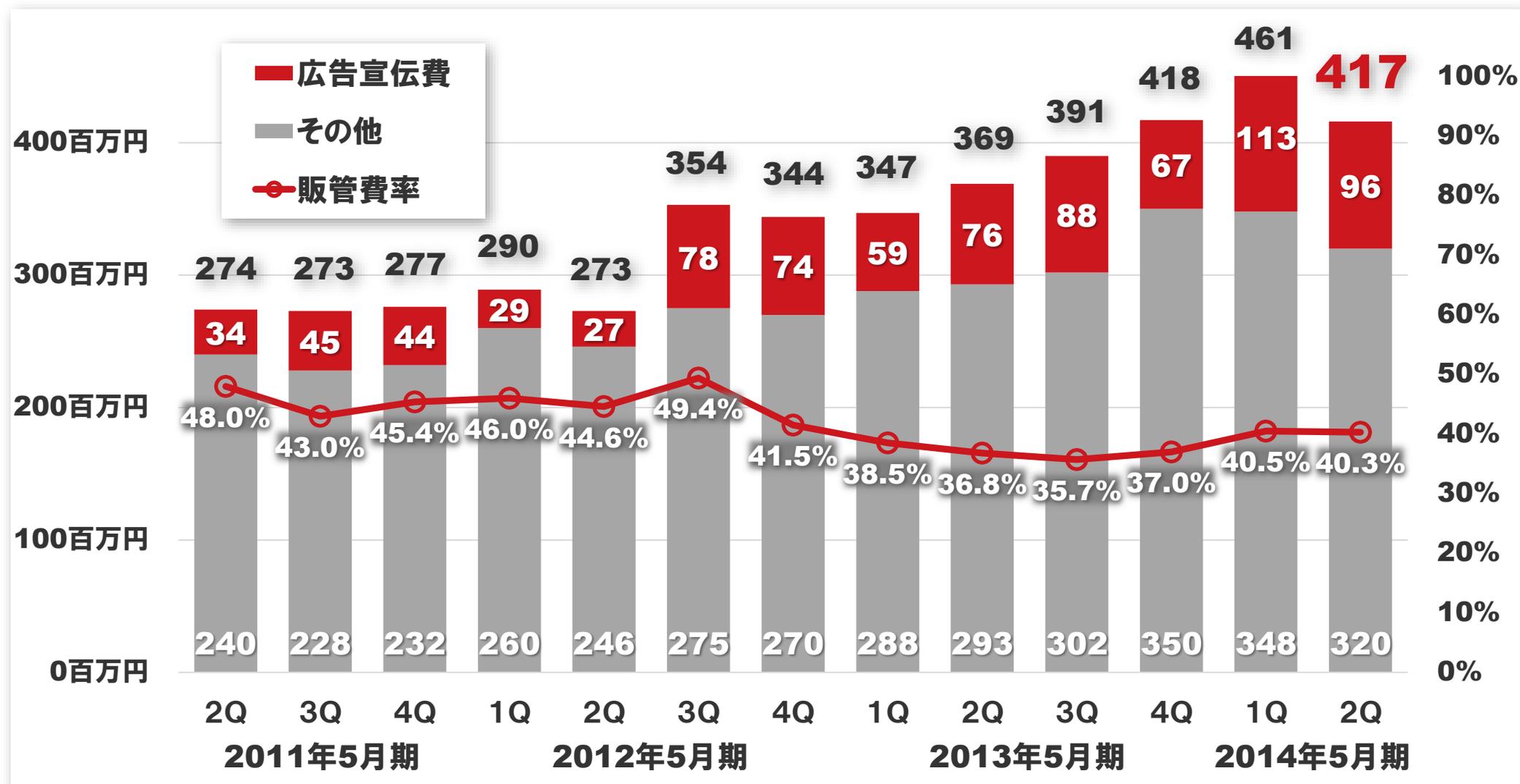
(単位: 百万円)

	2013年5月期 第2四半期累計	2014年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
(広告宣伝費)	135	209	74	54.8%
(その他)	581	669	87	15.1%
販管費	716	878	162	22.6%
販管費率	37.6%	40.4%	—	—

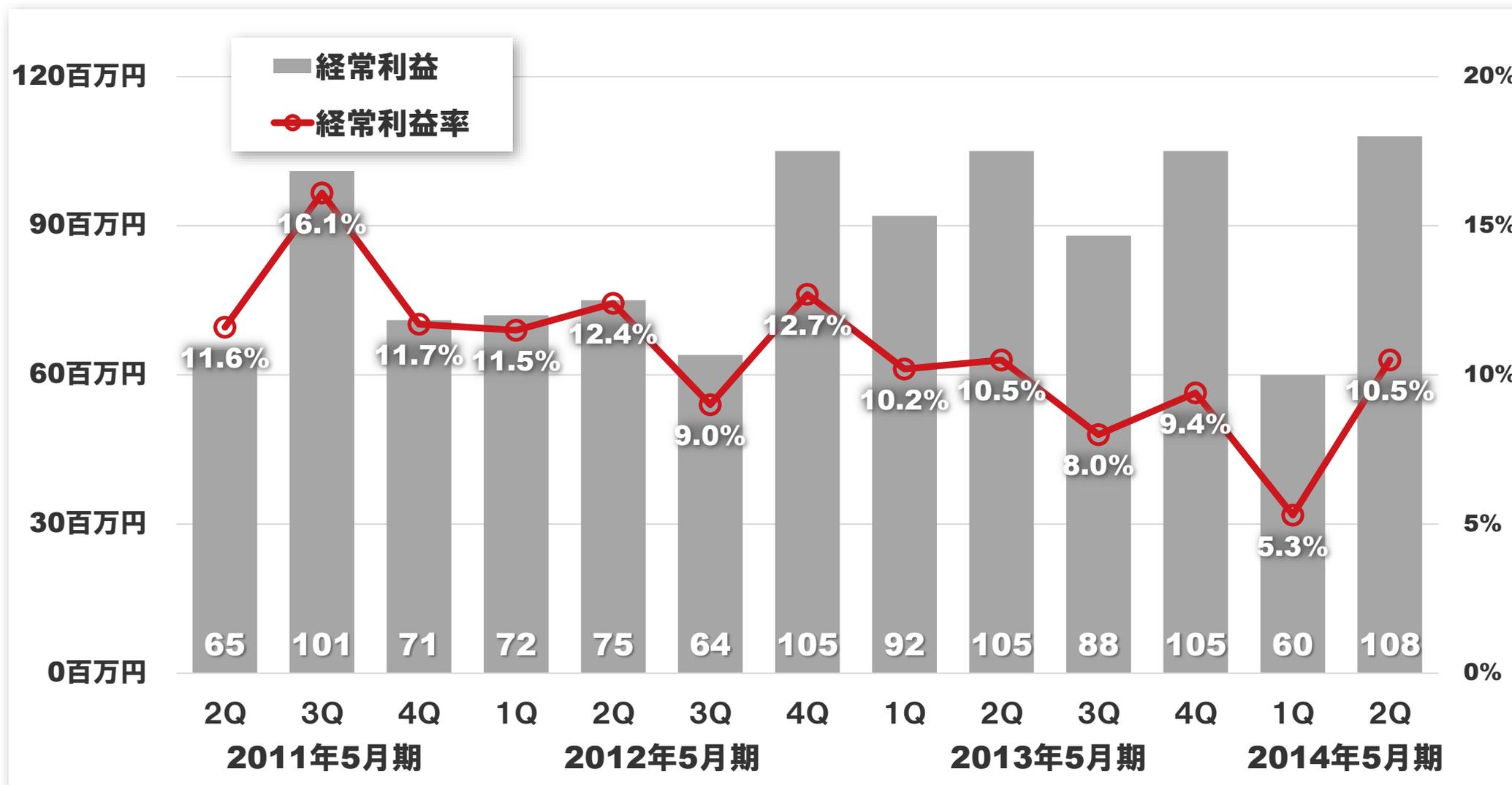
■ソリューション減収(広告・中国)に伴う原価減少／定額制コンテンツの伸長による原価率改善



■ コンテンツサービス事業の効率的な広告展開の推進／その他コスト削減



■ 原価率改善・販管費の削減に伴い、2Qは増益





2014年5月期 決算概況【第2四半期】



2014年5月期 事業展開【国内】

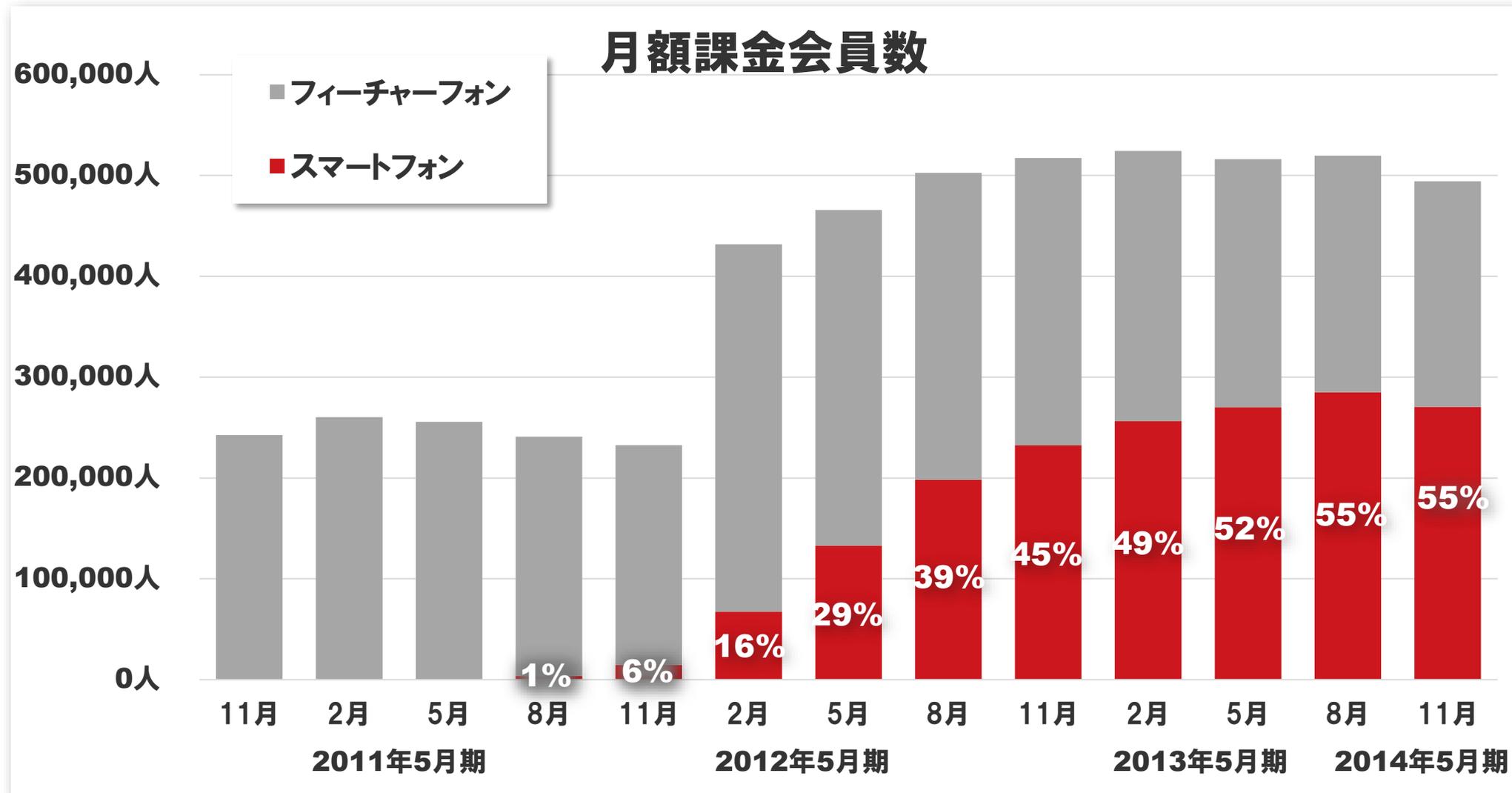


2014年5月期 事業展開【海外】

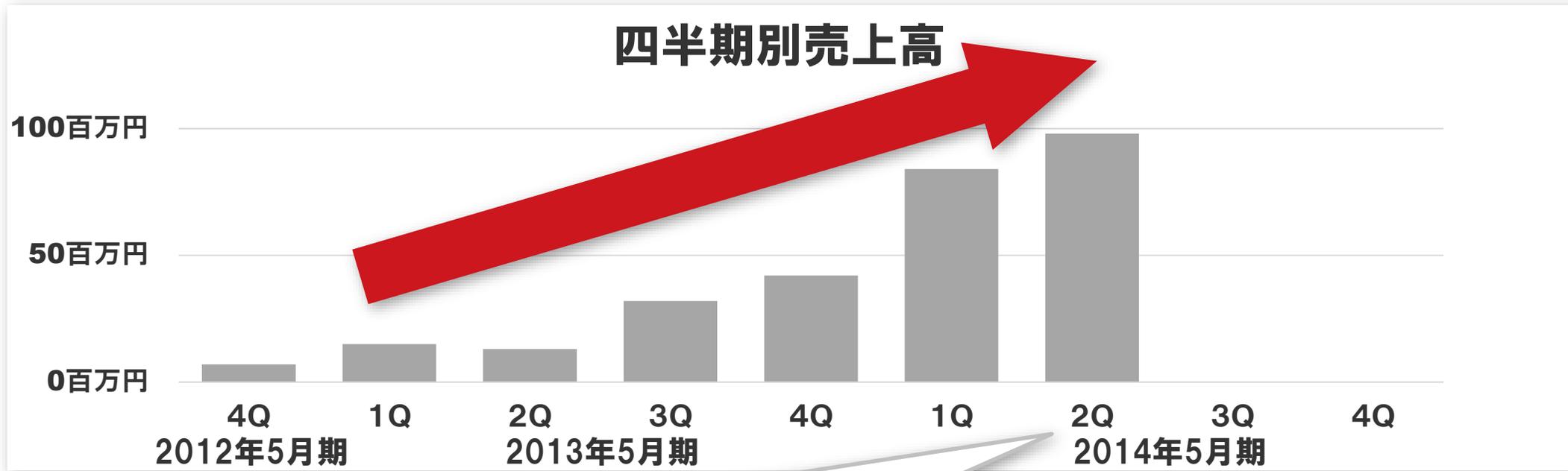


2014年5月期 見通し【業績予想】

■ 継続的なスマートフォン向け月額課金サイトの獲得



■ キャリアの定額制サービスへ、積極的にコンテンツを展開



スゴ得コンテンツ



ちよこっとゲーム
(10月～)

auスマートパス



夏目友人帳 ニャンコ
先生と遊ぼう(11月～)



レジャー&駐車場
情報(11月～)

下期も、コンテンツの
拡充を積極的に実施

■ グローバル(多言語)化対応に伴う利用者増へ



女性の心と体のサポートアプリ
「女性のリズム手帳」
 無料



■ 新規スマートフォンアプリの投入



メッセージアプリ
「Fivetalk」(無料)
平成25年10月開始



お絵描き & グリーティングカードが送れるスマートフォン向けメッセージアプリ



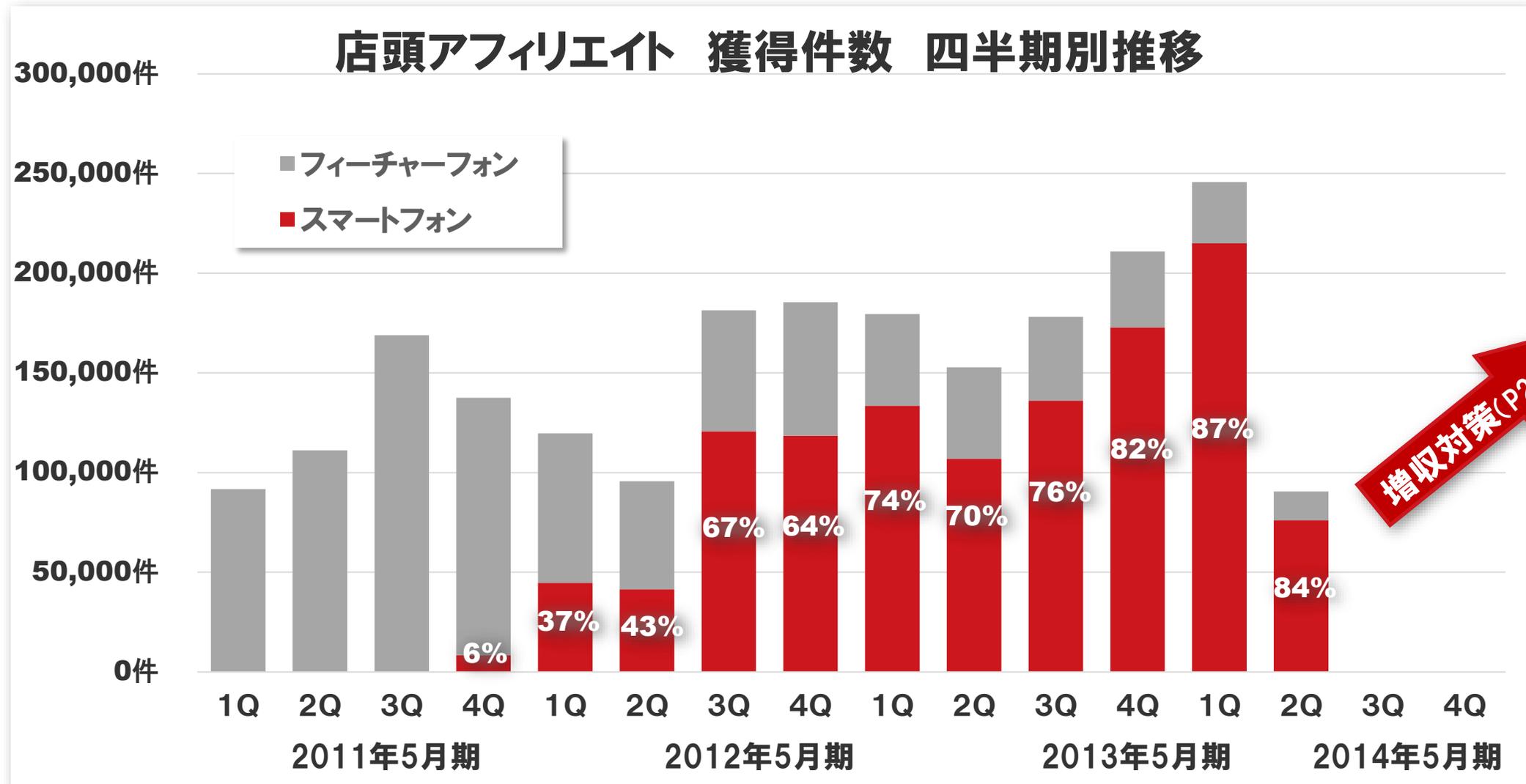
ソーシャルアプリ
「コミュカラ」(無料)
平成25年10月開始



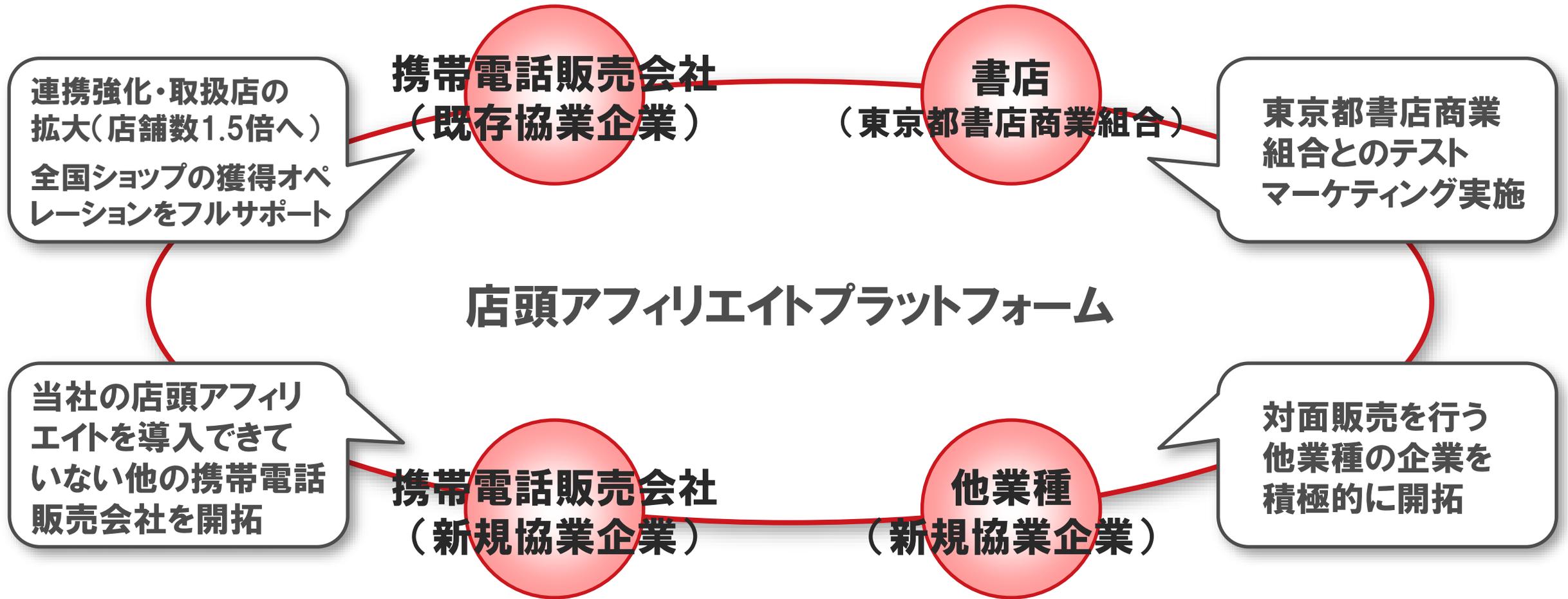
スケジュールを共有できる無料掲示板アプリ



iPhone5s/cの販売開始に伴う影響による、店頭アフィリエイトの獲得件数の減少



■ 広告事業の増収対策 ～連携強化&販路拡大～



■ 共同事業の拡大(事例:サンリオウェブ様)



dゲーム※向けアプリ
「るんるんはろーきてい」
無料(一部課金あり)

新たなプラットフォームへ参入(1月予定)
~カードゲームからの脱却、女性向けゲーム~

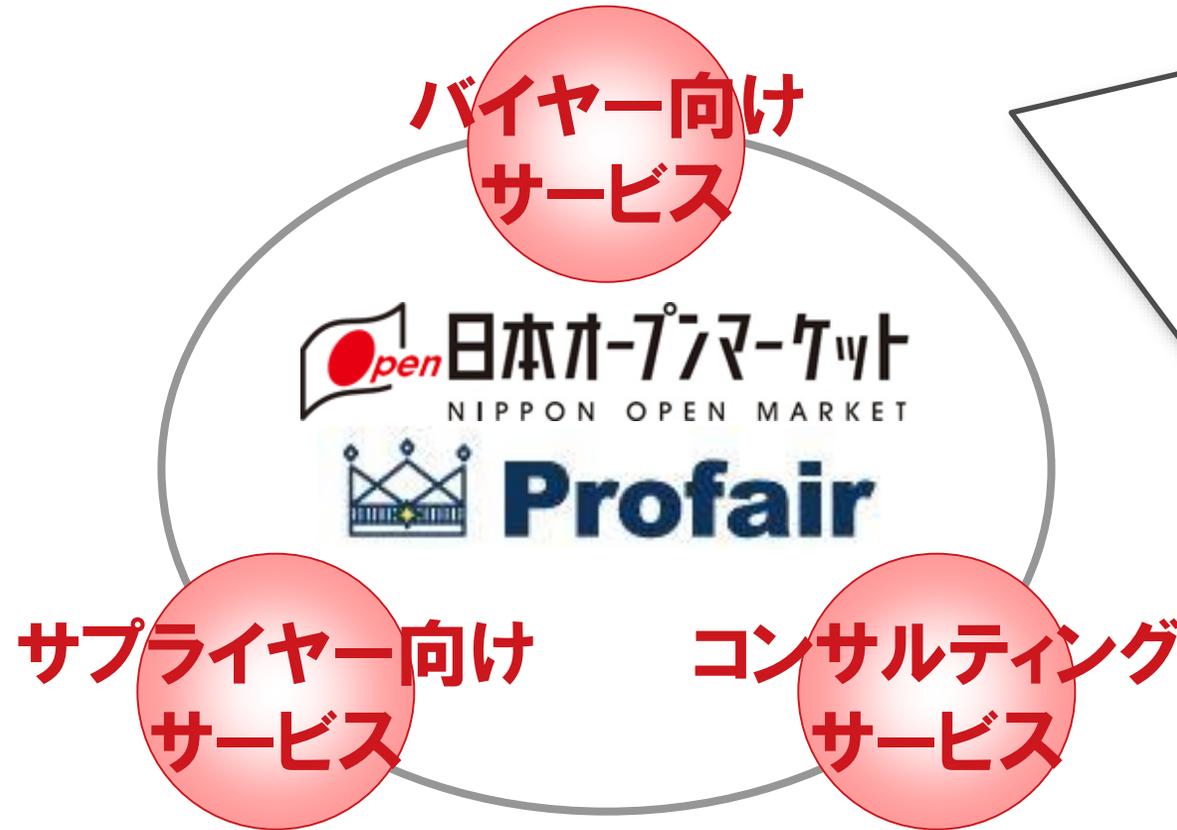


キャラクター要素も
パワーアップして
世界観を演出!



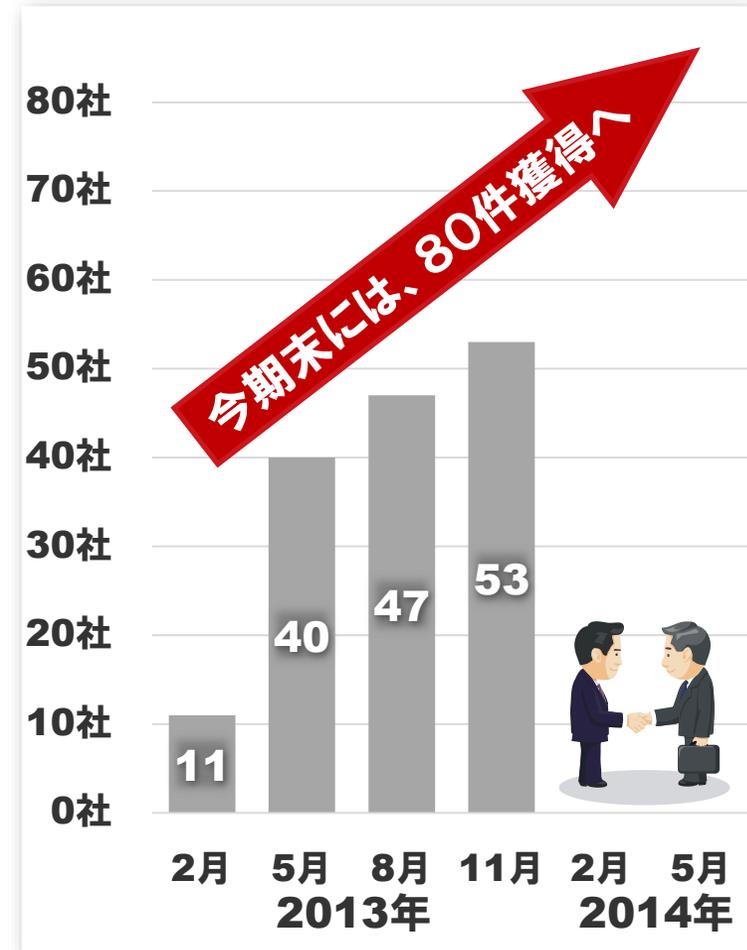
※dゲーム: 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモが大手ゲーム会社と提携し、厳選したゲームを提供するサービス

■ リバースオークションの拡大



オークションの活性化を図るべく、
バイヤーとサプライヤー向けに拡販

バイヤーとの契約数の推移



■ 音声を軸とした新規法人向けサービスの推進



子会社「株式会社and One」の音声通信ソフトウェア開発の技術力を活かしたIP電話サービスの創造



2014年5月期 決算概況【第2四半期】



2014年5月期 事業展開【国内】



2014年5月期 事業展開【海外】



2014年5月期 見通し【業績予想】

■「九鼎記」の配信先の拡大／新規タイトルの制作

中国の人気小説「九鼎記」
漫画化(電子コミック)



中国移動(チャイナモバイル)
2012年7月より、「手機動漫」向けに配信

中国電信(チャイナテレコム)
2013年4月より、「愛動漫」向けに配信

中国聯通(チャイナユニコム)
2013年9月より、「沃動漫」向けに配信

騰訊(テンセント)
2013年11月より、「騰訊動漫」向けに配信

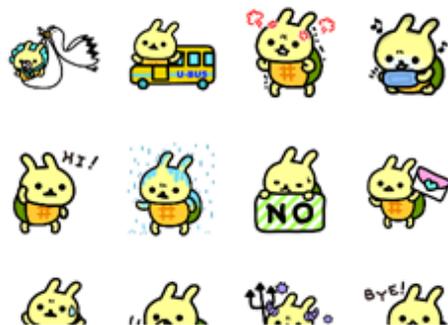
無料版を含め、
閲覧数500万突破

新規タイトル

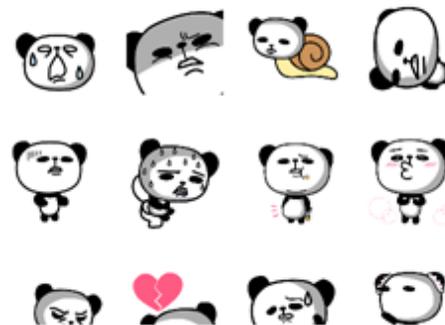
雑誌へ掲載開始(下期予定)

■ WeChat※や微博※で使えるスタンプ「うたがめ」「オワタパンダ」をチャイナモバイル『漫賞表情』向けに提供開始

乌龟兔钝钝（うたがめ）
スタンプ30種類
3元（約50円）



麻烦熊猫（オワタパンダ）
スタンプ30種類
3元（約50円）



※WeChat・中国IT企業大手の騰訊公司（テンセント）社が提供するスマートフォンで、無料通話やチャットが楽しめるコミュニケーションアプリ。総アカウント数は6億超。



※微博・中国のソーシャルメディア。ミニブログや中国版Twitterとも言われる。代表的な微博は、中国ポータルサイト最大手「新浪」を運営する新浪公司の「新浪微博」と、騰訊公司の「騰訊微博」等。微博の総アカウント数は13億超。



■ 携帯ショップ(チャイナテレコム)での携帯電話販売展開

チャイナテレコム
東方路店

チャイナテレコム
黄金城道店

2Q(7～ 9月) キャリアの販売奨励金が、携帯販売会社の積極的な販売攻勢で
予算オーバーによる一時休止となったため、2Qの販売数が減少。

3Q(10～12月) iPhone5s/cの発売を機に、中国携帯電話市場はさらに拡大。
11月下旬から、チャイナテレコムの新たな販売奨励金がスタート。

4Q(1～ 3月) チャイナモバイルのiPhone販売開始によるキャリア間の競争激化
に伴い、チャイナテレコムの販売施策強化へ。

※中国の子会社は、12月末が決算日であります。なお、連結財務諸表の作成にあたっては、3月末日現在で実施した仮決算に
基づく財務諸表を使用しており、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。



2014年5月期 決算概況【第2四半期】



2014年5月期 事業展開【国内】



2014年5月期 事業展開【海外】



2014年5月期 見通し【業績予想】

■ 連結業績予想

(単位:百万円)

	2013年5月期	2014年5月期 (予想)	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	4,134	5,000	865	20.9%
営業利益	372	520	147	39.7%
経常利益	391	500	108	27.7%
当期純利益	354	569	214	60.3%

投資有価証券売却益の発生等により、
当期純利益(予想)を315百万円から
569百万円に上方修正しております。

1株当たり年間配当(予想):2円※

※平成25年12月1日付で、当社普通株式1株につき
100株の割合をもって株式分割を行っております。

日本エンタープライズグループは コンテンツビジネスを通じ、 すべてのお客様に喜びと感動をお届けします

この資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社経営判断にもとづいています。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみには全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。